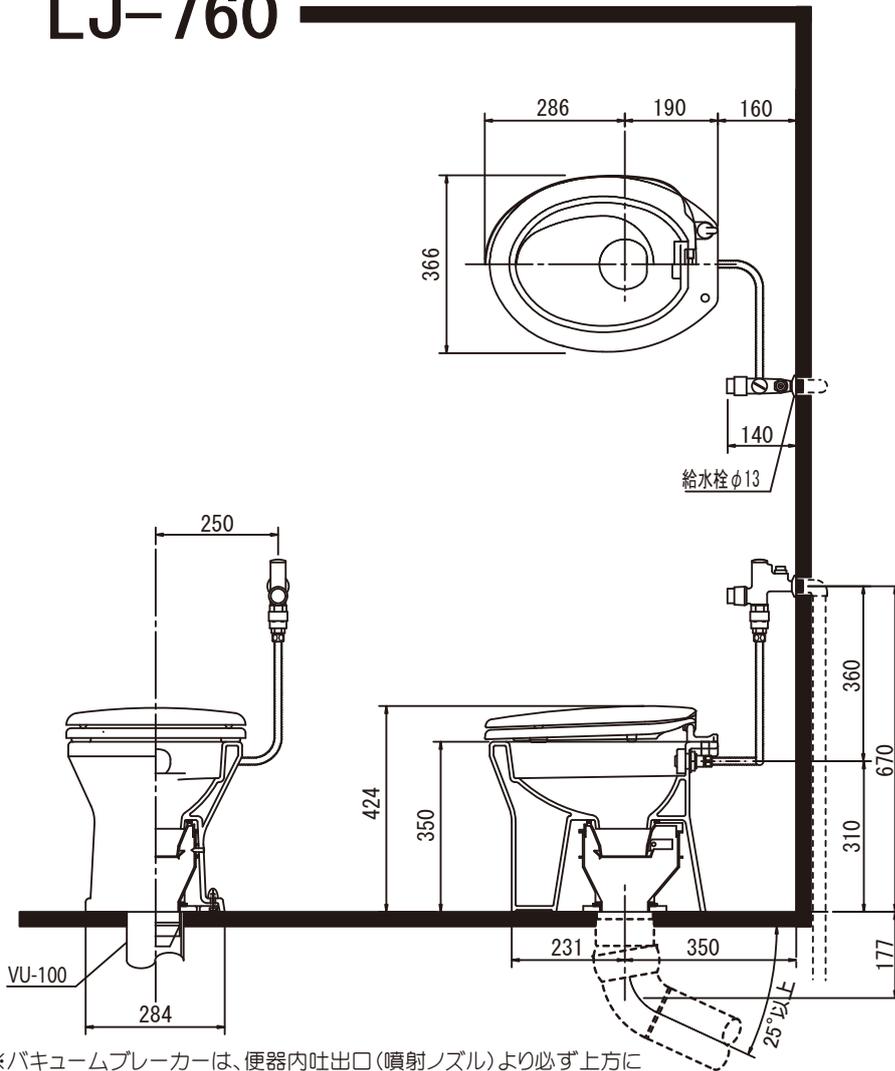


1

LJ-760設計図

LJ-760



- 注意事項
- 水圧0.15MPa以下、0.74MPa以上のところには設置しないでください。
 - 水道配管および給水器具は、しっかりと固定すること。
 - 洗浄管を接続する前に配管内のゴミ抜きを必ず行ってください。これを怠りますと、止水不良の原因となります。取り付け当初に配管ゴミを出し切ってしまうと、以後止水不良の原因となるようなゴミはほとんど出ません。

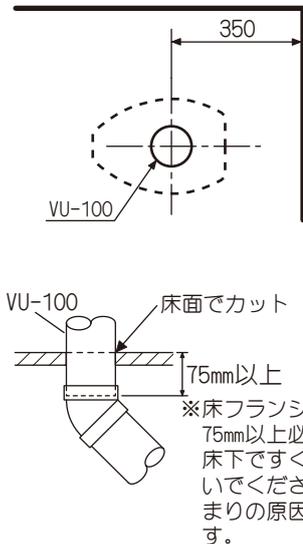
※バキュームブレイカーは、便器内吐出口（噴射ノズル）より必ず上方に取り付けることとし、その高低差は250mm以上に設けること。

注意：
器具取付前に、配管内のゴミ及び切りカスは、完全に取り去ってから接続してください。

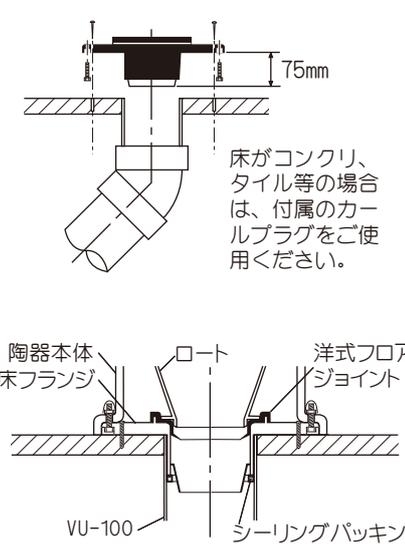
2

床穴寸法図・床フランジ取付・便器取付

床穴寸法図



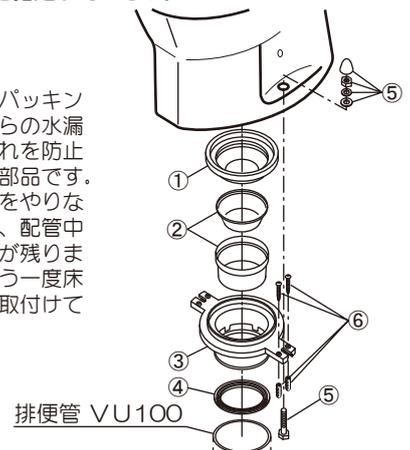
床フランジ・便器取付



No	部品番号	部品名	数量
1	AZ-06094	洋式フロージョイント	1
2	AZ-06267	組込用ウジ返し	1
3	AZ-06265	共通洋式床フランジ	1
4	AZ-06269	シールリングパッキン	1
5	※AZ-04510	陶器取付ボルトセット類	1
6	AZ-04500	床フランジ取付ビスセット	1

※印は色を指定してください。

シールリングパッキンは接続部からの水漏れと臭気漏れを防止するための部品です。万一取付けをやりなおす場合は、配管中にパッキンが残りますので、もう一度床フランジに取付けてください。



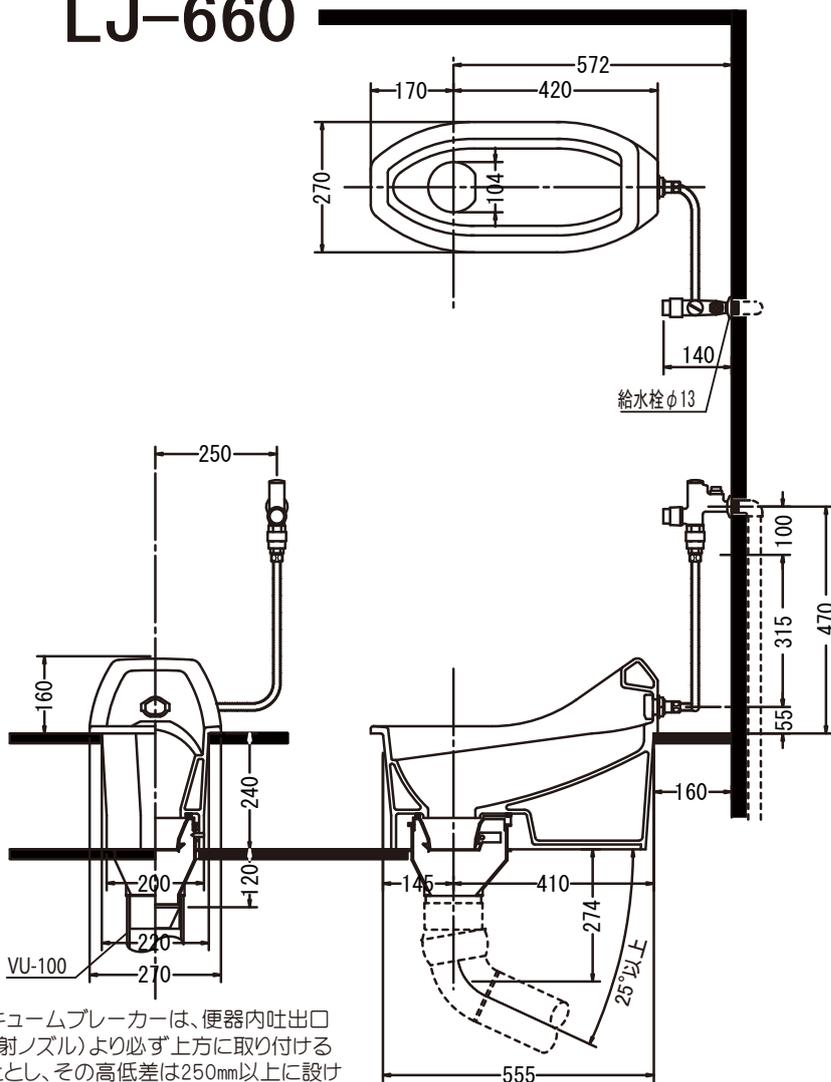
※パイプは、必ず床面より出っ張らないようにカットしてください。

●付属品は、改良のため変更する場合があります。

1

LJ-660設計図

LJ-660



- 注意事項
- 水圧0.15MPa以下、0.74MPa以上のところには設置しないでください。
 - 水道配管および給水器具は、しっかりと固定すること。
 - 洗浄管を接続する前に配管内のゴミ抜きを必ず行ってください。これを怠りますと、止水不良の原因となります。取り付け当初に配管ゴミを出し切ってしまうと、以後止水不良の原因となるようなゴミはほとんど出ません。

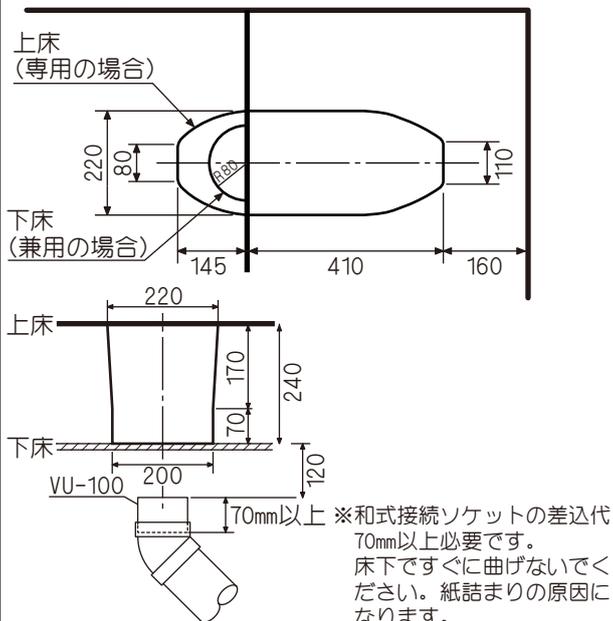
※バキュームブローカーは、便器内吐出口（噴射ノズル）より必ず上方に取り付けることとし、その高低差は250mm以上に設けること。

注意：
器具取付前に、配管内のゴミ及び切りカスは、完全に取り去ってから接続してください。

2

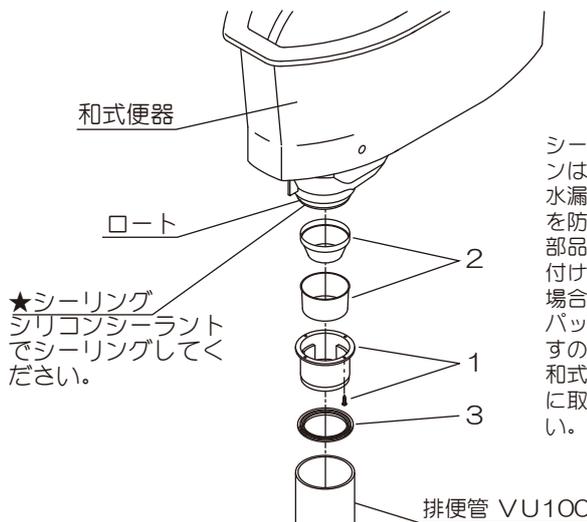
床穴寸法図・便器取付

床穴寸法図



便器取付

No	部品番号	部品名	数量
1	AZ-06096	和式接続ソケット(ビス付)	1
2	AZ-06267	組込用ウジ返し	1
3	AZ-06269	シーリングパッキン	1



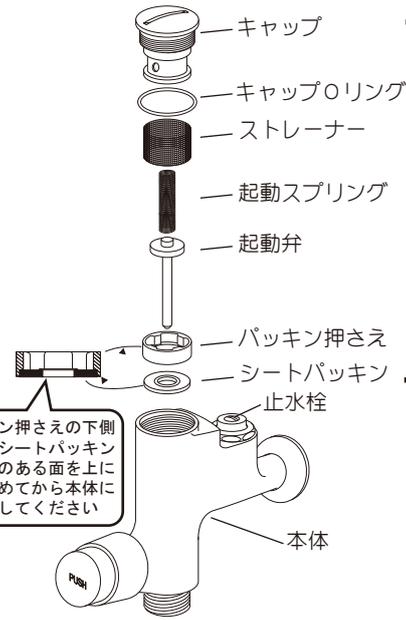
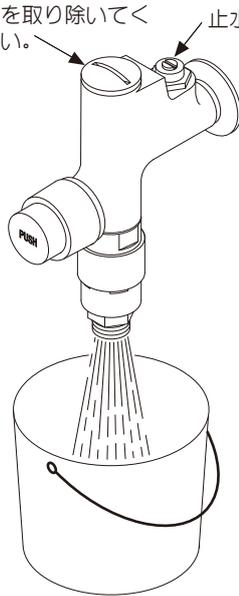
シーリングパッキンは接続部からの水漏れと臭気漏れを防止するための部品です。万一取付けをやりなおす場合は、配管中にパッキンが残りますので、もう一度和式接続ソケットに取付けてください。

3

給水器具取付

1. 器具取付前に
配管内部のゴミ及び切りカスは、完全に取去ってから接続してください。
2. 器具取付時に
13mm給水ソケットと器具の接続の際、シールテープまたはシーリング剤等が内部にはみ出さないように十分に注意してください。
3. 器具取付後に
右図のように、バケツに2~3杯、水を勢いよく流してください。これを怠りますと、止水不良の原因となりますので必ず実行してください。その後、エアフラッシュのストレーナーを外し、内部を水洗いしてください。

※キャップを外して、ゴミを取り除いてください。



品名：
エアフラッシュ用
キユップ&新起
動弁セット
品番：AZ-03765

パッキン押さえの下側の溝にシートパッキンの突起のある面を上にしてはめてから本体にセットしてください

4

フリーチューブの取付と水量調整

No	部品番号	部品名	数量	No	部品番号	部品名	数量
1	AZ-03721	エアフラッシュ	1	4	AZ-03455	φ13用フリーチューブ(L=550)	1
2	AZ-03743	寒エアフラッシュ	1	5	※AZ-04870	760用ノズルセット(旋回流)	1
3	AZ-03705	新バキュームブレーカー	1	6	AZ-04766	660用ノズルセット	1

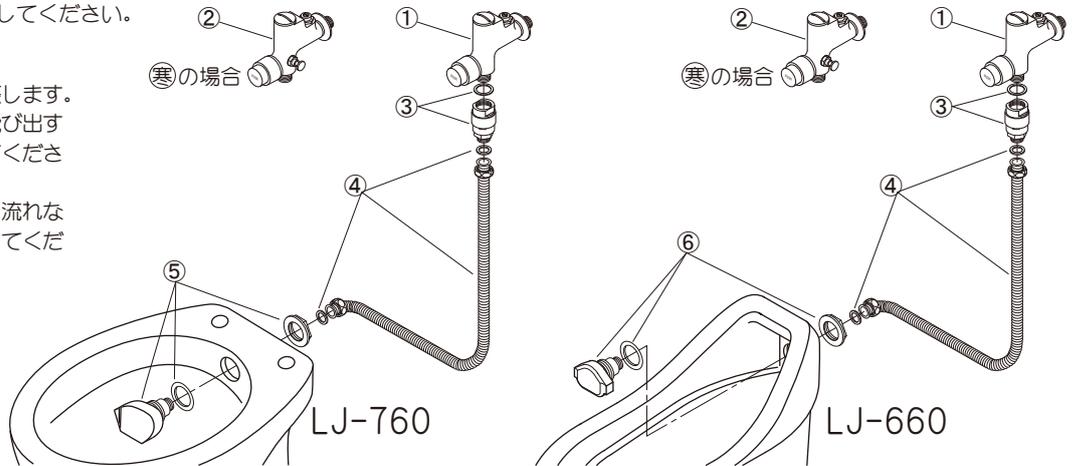
※印は色を指定してください。

水量調整

エアフラッシュの止水栓で調整します。

- 洗淨水の勢いが強く便器から飛び出す場合、止水栓を閉めて調整してください。
- 洗淨水の勢いがなく便器全体に流れない場合、止水栓を開いて調整してください。

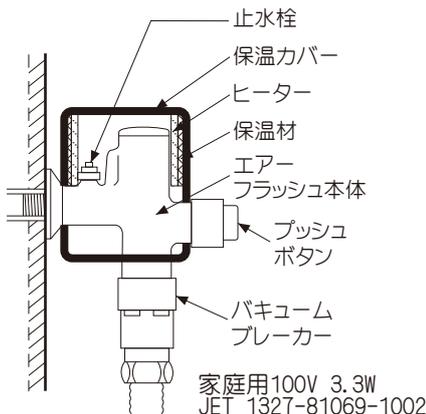
※便座取付
便座に付属されて
いる施工説明書
をご覧ください。



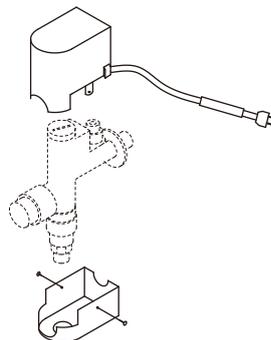
5

防寒型・凍結防止対策

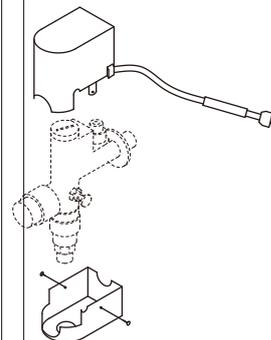
- 室温が5℃以下にならないとヒーターの電源が入りません。室温が17℃以上になると自動的に電源が切れます。
- このヒーターは室温が-5℃まで耐えられます。-5℃以下になるような場合は、凍結防止対策を行ってください。
- 長期不在する場合は、電源プラグを抜いてください。凍結時期の場合は、凍結防止対策を行ってください。



品番:AZ-12321
品名:エアフラッシュ用保温ヒーター



品番:AZ-12322
品名:寒冷地用エアフラッシュ用保温ヒーター



配管注意事項

1. 配管材料

- ①管の外観・形状・材料は、JISK 6741(硬質塩化ビニール)によるものとし、肉厚は、汚水管にあつては2mm以上、排気管にあつては1.5mm以上であること。
- ②継手は①に準ずるものとし、汚水管用は、汚物の流下に支障のない形状・構造を有するものであること。
ただし、継手の肉厚は、ブロー成形品に限り、少なくとも①の80%とすること。

2. 汚水管

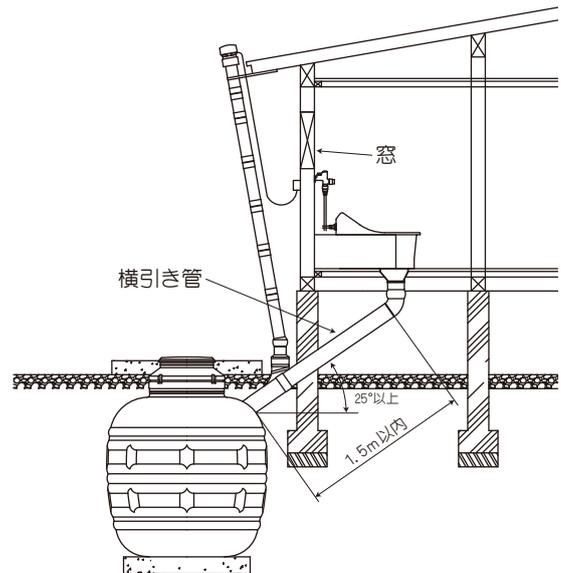
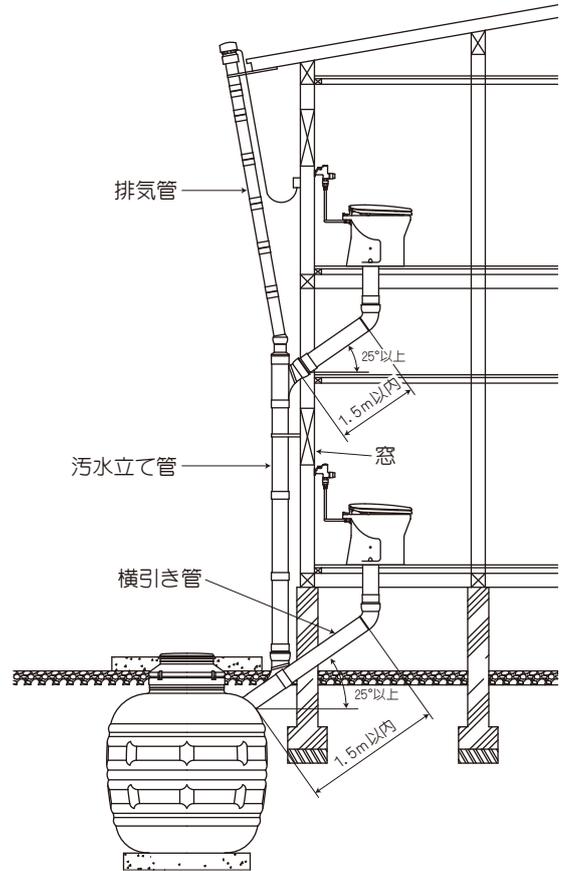
- ①汚水管の管径は、呼び径100以上とすること。
- ②横管の管長(実長)は、1.5m以内、勾配は25°以上とすること。
- ③エルボの個数は、極力少なくすること。
- ④配管等の接合部は、十分な耐久性、水密性、気密性を有すること。

3. 排気管

- ①管長(直管実長)が1.5mを超える汚水立て管を設ける場合は、その上部等から排気管をとるなど適切な排気装置を設けること。
- ②排気管の先端には、排気トップ等を設けること。
- ③排気トップ等は、防臭機能に支障を来さない性能であること。
※電動ファンを取り付ける場合、10W未満のこと。
- ④排気トップの下端には、建物の出入口・窓・換気口などの上端から600mm以上高い位置に設けること。
- ⑤排気管の管径は呼び径50以上とすること。
- ⑥排気管の接合部は、十分な耐久性、気密性を有すること。
- ⑦管長(直管実長)が1.5m以下の汚水立て管で排気管を設ける場合は、②～⑥と同様の施工をすること。

4. 配管の通水試験

工事完了後次のような通水試験を行うこと。
10リットルの水を1回以上流して漏水の有無を調べる。



ロンシール機器株式会社

〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町4-6・東邦センタービル2F
☎ 03(3862)9825 FAX03(3862)9810

ホームページアドレス <http://www.lonsealkiki.co.jp/>

札幌営業所 〒060-0063 札幌市中央区南3条西12丁目325-2番地・キャピタルビル204号 ☎ 011(272)1013(代)
 仙台駐在所 〒984-0037 仙台市若林区蒲町字東29-1・ホワイトキャッスル蒲町ビル2F ☎ 022(294)1120(代)
 東京営業所 〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町4-6・東邦センタービル2F ☎ 03(3862)9817(代)
 大阪営業所 〒532-0002 大阪市淀川区東三国4-15-12・シオザキビル2F ☎ 06(6397)6502(代)
 福岡営業所 〒815-0041 福岡市南区野間1-1-19・高宮駅前ビル501 ☎ 092(552)1322(代)